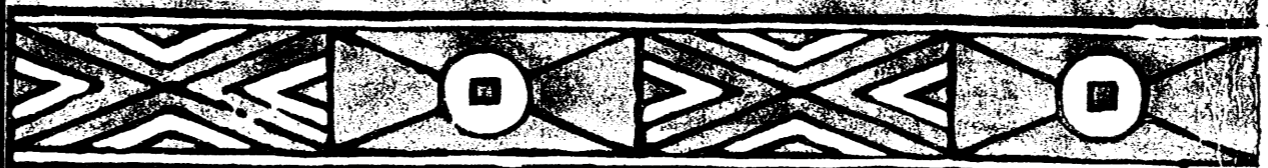


0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 5

1 : 30

0
20



博物館陳列品圖鑒 第四輯

朝鮮總督府博物館

MUSEUM EXHIBITS
ILLUSTRATED
VOL. IV
GOVERNMENT-GENERAL MUSEUM
OF CHOSŬN



0
20

069
70624
I

069.1
/

70624

庫文閣内
和書
七〇三〇
二冊
號



渭原出土明刀錢及鐵器銅器

昭和二年八月平安北道渭原郡崇正面龍淵洞に於いて多数の明刀錢と共に鐵製利器及び銅製帶鉤を發見し漢の武帝四郡設置以前に於いて早く金屬文化の續々として朝鮮半島に移入せられたることを示すべき貴重なる資料を提供せり。明刀錢は其の形狀大小種類極めて多く銅製帶鉤は前漢代に於いて同形のものを見るを得べし。鐵器には銚二、斧二、鋤一、鉞一、庖丁一、鎌一、鉞一、三角鐵一、鉞狀器一あり何れも前漢代の遺物に連絡を有するものにて従つて其の時代を推定し得べし。別に單齒一個を見る

- 青銅帶鉤長き一七釐
- 鐵鉞長き 一六釐
- 鐵鉞長き 二四釐
- 鐵鏃長き 二〇、五釐
- 鉞狀鐵器長き一五釐
- 鐵鉞長き 三三、五釐
- 鐵鉞長き 一八釐
- 銅庖丁長き一三、五釐
- 鐵鉞長き 一七釐
- 鐵鉞長き 三釐

Bronze and Iron Implements

Found from the tumulus including numerous Chinese bronze coins of the late Chou Dynasty, near Igen village, N-Heian province. About actual size.

白銅製尙方神人畫像鏡

平安南道大同郡大同江面に於ける樂浪郡時代の古墳より發掘せるものにて良質の白銅を以て鑄造し今漆黒の潤澤拭ふが如し彫法亦極めて銳利に線廓精細正確にして此の種畫像鏡の白眉となす縁には雲文唐草帯を繞らし銘帯には二十七字の陽文を刻す

尙方作竟真大巧上石山(仙人不知老渴欠)飲玉泉汎(亂)食
東東王父西王母

内區の畫像の一に東王父の陽銘あり相對せるもの西王母なること明にして冠飾衣裝は樂浪出土の漆盤上の神人像に類し怪人奇鬼の活躍飛動せる最も良く漢代圖樣の特質を示せり 直徑約十九厘米



Chinese Bronze Mirror

Han Dynasty

Found from an old tomb of the Rakuro Period near
Heijō, S-Hieian Province. Diameter 19 c. m.

文 様 磚

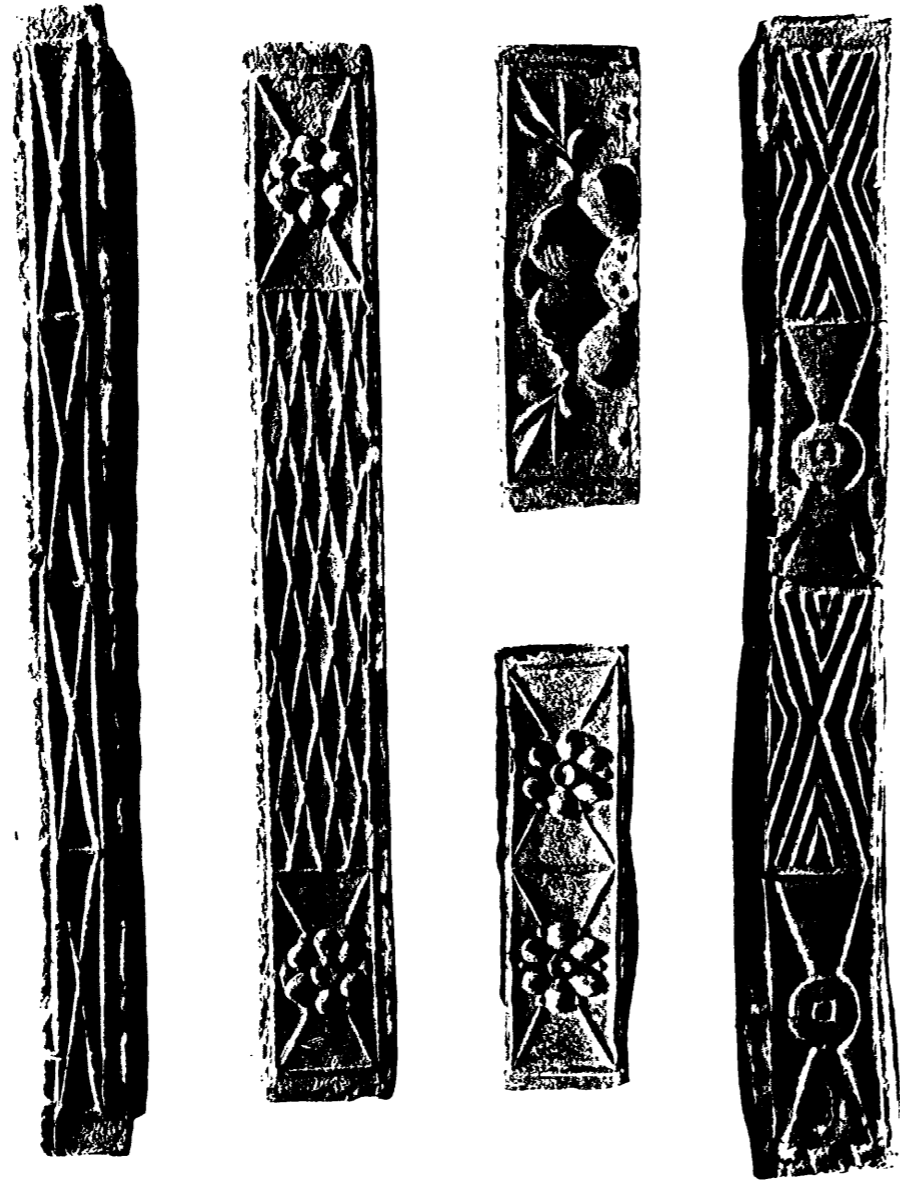
大正十三年忠清南道公州邑内小學校校庭にて多数の磚を以て作れる小椽室を發見し内部に一個の陶質素燒壺を得たり 磚の形狀大小は漢代の夫れに類似するも稍硬質にて其の幾何文様の線廓は整正にして五銖錢文は輪廓のみを存し別に六辨又は八辨の蓮華文様の雄勁なるありて三國時代の特徴を示せり 又無文にて梯形をなせるもの側面に急使の文字を陽刻せるもの等あり 漢磚の影響により六朝時代に發達せる一形式が傳へられて百濟に於いて製作せられたるものなることは瓦當の蓮華文との相似によりても知らる これと類似の長方文様磚は支那南京附近にても多数發見せられたりといふ

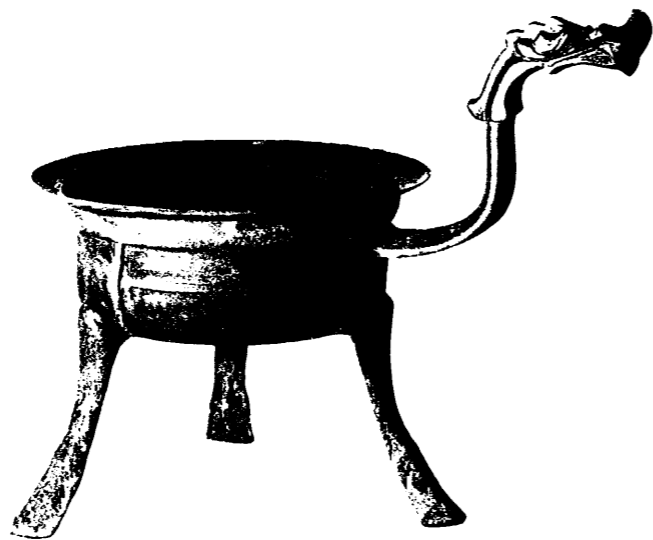
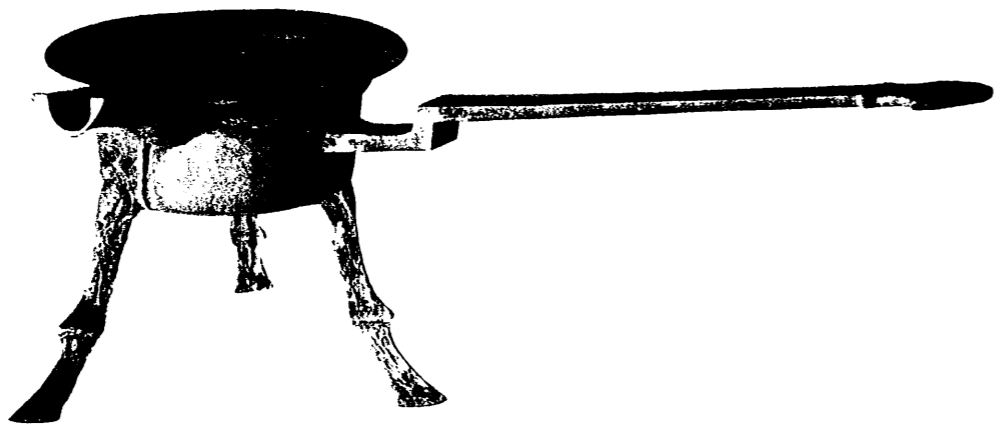
Brick of the Burial Chamber

Kudara Dynasty

Found at Kōshyū, S-Chūsei province.

About half size.





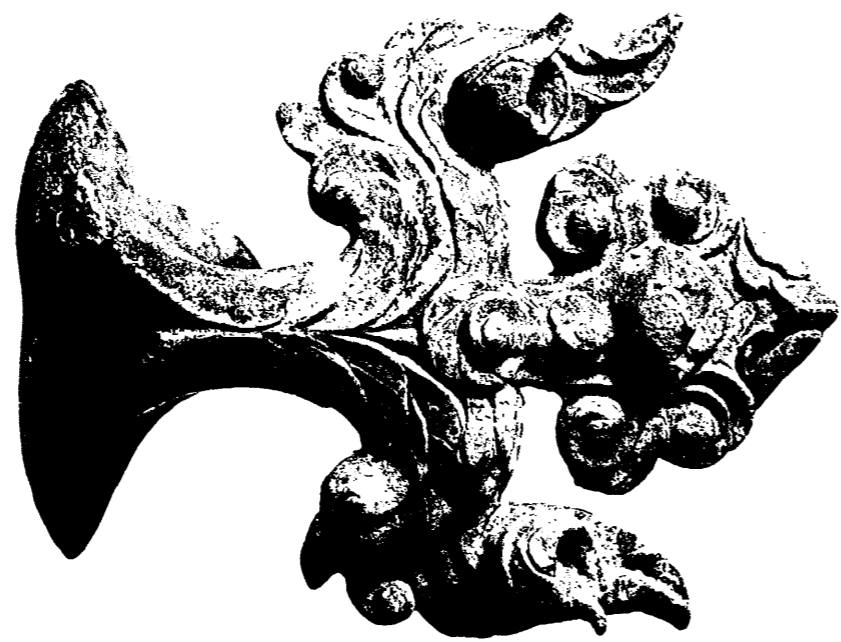
青銅製 鍾斗

大正十四年八月漢江の大洪水によつて京畿道廣州郡九川面風納里の古土城の一部を破壊し城内の土中より一大陶甕に納められたる青銅製鍾斗二個を發見せり。其の一方は三獸脚と注嘴及び長柄を有し他は注嘴を缺き把柄は龍頭となり屈曲して上に向へり。鍾斗は漢代の温器にして三國時代の高句麗新羅任那の古墳に屢々類品を見何れも漢土よりの舶載品にして製作精巧を極め明器として尊貴の陵墓に伴葬せられたるもの如し。風納里土城は其の地理上の位置より亦出土の土器陶器銅弩白銅鏡等よりして百濟の遺蹟たること疑なく此鍾斗亦百濟舊都の遺品として大陸文化移入の好例を示せり。

Bronze Vessels "Chao-ton"

Kudara Dynasty

Found from the ruined castle of the Kudara Dynasty, near Kcijo. About half size.



金銅樂天像及び飾金具

昭和六年九月慶尚北道盈徳郡柄谷面金谷洞石金寺境内にて發掘したるものにて新羅一統時代の最も優秀なる金工の一端を示したる。反轉せる美しき瑞雲の上に樂天人が極めて輕らかに座し天衣を纏して笛を奏する飄渺夢幻の姿は些の澁滯の點なく自由にして優美の相を示せり。同時に發見せる金銅飾金具は華文の變化せるものにて下方の三角形の背面は凹面をなし塔又は石燈の四方屋根の四隅を飾れるものゝ如し。樂天像高さ十二厘米。金銅飾金具長さ十五厘米。何れも緑色に鍍化するも鍍金の色鮮かなり。

Gilt Bronze Buddhistic Image and Ornament

Shilla Dynsty

Found at Yukinji Temple, S-Keishō Province.

About actual size.



青銅四獅柱燈

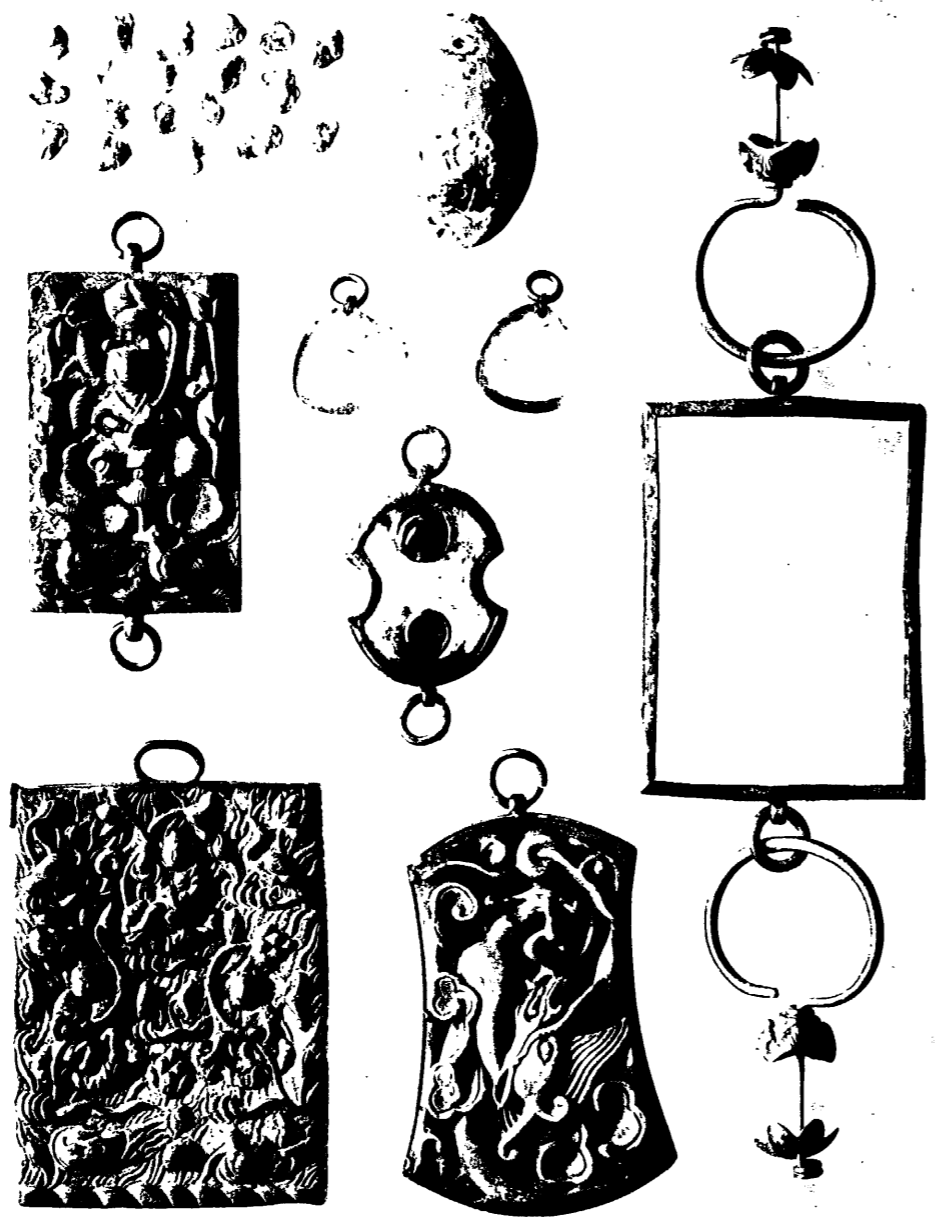
昭和三年十二月慶尚南道居昌郡居昌面東洞里に於いて發見せるものにて覆鉢形臺座の上に立ち上れる双獅相對して支柱を支へ下向せる双獅との間に鼓形の金具を挟みて四獅の對照巧妙を極め更に小支柱を下向獅の上に立て、薄き灯皿を載せたり。兩獅又は四獅を立て、石燈石塔等を支へたる形式は新羅以來好て用ゐられたる手法なるが細き支柱に此の複雑なる姿勢を利用して良く統一を保ち而かも全體の調子を安定にして變化に富ましめたる點は此種高麗燈器の逸品とすべし。高さ約六十厘米。

Bronze Candle Stick

Korai Dynasty

Found at Kyoshō village, S-Keishō Province.

60 c.m. in height



金銅經宮及各種垂飾品

昭和六年七月京畿道金浦郡陽東面登村里にて發見したるものにして悉く小環又は小孔を有するより見て腰又は帯に垂れたる吊飾なるを知る 金銅製小宮一個は陀羅尼を收めたる經宮にして表裏には蓮華上に坐せる童子を繞て水流瑞鳥の流麗なる打出文を附す 又同じく蓮華上に座したる童子を打出せる吊飾 龍文を刻出せし玉製品嵌入の吊飾 水晶嵌入の分銅形吊飾 或は水晶製貝形飾玉 子安貝 眞珠等いづれも高麗時代の古墳に副葬されたる裝身具なる事を推知せらる

Pendant Ornaments

Korai Dynasty

Found at Tōsonri village, Keiki Province.

About half size.



染付龜形大水注

李朝文房具の發達は興味深きものあり 水注筆筒等の種類と形の變化の多き驚くべし 本圖に示せるは其の最も大なる水注の一例にして粗大なる形の内に精緻の彫刻を施し素朴にして面かも純眞の趣を有し最も良く朝鮮近代工藝の特色を表はしたり 背面には七曜星文を踏じて吉祥の意を示し巨口を開いて水の呑吐に便す
全長約二三寸 頭部に於いて高さ一七五寸

White Grazed Water-Pitcher

Late Li Dynasty

About half size.



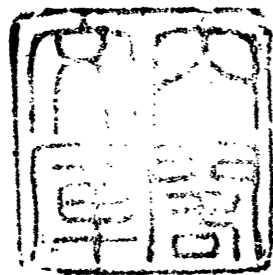
檀園筆樂圖

檀園筆風俗書帖の内章舞の圖を示す 青衣長袖を翻す舞
 童長鼓を打ち笛を吹き洋琴を弾する樂者 極めて自由に
 して省筆の内に特徴を把へ簡素にして最も俚趣を存せり
 檀園金弘道字は士能正祖朝の書員にして磊落不羈筆勢縱
 横近世の名匠とす 山水人物花卉翎毛至らざるなきも最
 も好で神仙を描き又時俗を寫し其の風俗圖は筆勢豪宕に
 て良く機微を捉へ前後に追隨するものあるを見ず

Corean Musical Dance

Late Li Dynasty

Coloured on Paper, painted by Dan-en (Kim-kodo).



絹本菩薩像長幡

伯爵大谷光瑞師の西域探検隊によつて將來せられたる甘肅省敦煌發見の絹本長幡にて今本府博物館に同種のもの九本を藏す。上下に諸菩薩を相連ねて柱又は窟洞内に垂れたるもの、如く長さ二丈餘に至るものあり。圖示せるは其中最も短きもの、一部にて赤色顔料にて天蓋を頂き割蓮華上に立てる菩薩像を描き右肩に南無不休息菩薩の名を挙げたり。衣文天衣寶飾等唐代佛教美術の特徴を示す。長さ約八十四厘米。

Bosatsu (Buddhissatova).

Tang Dynasty.

Painted by red colour on silk, found at Tun-fan, China.

Count K. Otani's Collection. 84 c.m. in height.